

# 駒工1年 勤労観育む

## ウミガメプロジェクト 地域の企業を見学



工場内で金属加工について説明を受ける駒ヶ根工業高の生徒たち＝駒ヶ根市のヨウホク

駒ヶ根市は6日、高校生の郷土愛や勤労観などを育む「ウミガメプロジェクト」の一環で、同市の駒ヶ根工業高校1年生を対象にした企業見学を行った。生徒113人が、製造業を中心とした市内19社、宮田村内1社のうち班ごとに2社を訪問。地域企業の役割やものづくりの楽しさなどを学んだ。

同プロジェクトは、高校生に地域課題を主体的に学ぶ機会やキャリア教育の機会を提供する人材育成事業。2020年度に市と駒ヶ根工業高、赤穂高が連携協力協定を結び、21年度から導入した。同校1年生を対象に行う企業見学は昨年に続き2回目。より早い段階から地域の企業を知

ることで、社会で働くイメージを持ってもらおうと企画した。

同市場割の金属加工工業ヨウホクには、7人が訪れた。北林元社長は「時代の変化に対応しながら、常識にとらわれない自由な発想や感性で、相手も自分もワクワクするものづくりに挑戦し続けたい」と会社のビジョンを紹介。製品加工の面白さなども併せて説明し、工場内を案内した。

生徒たちは、パイプをレーザーで立体的に加工する最新の機械などを間近で見学。同社が製造するアウトドア用品を活用したまき割りや着火の体験もあり、実際に製品を使って高度な技術に触れた。

参加した近藤響佳さん(16)は「一つの機械からさまざまな製品を作ることができるなんて驚いた」とし、「将来は製造業に就きたい。働く上でも人との関わりを大切にしていきたいと思った」と振り返った。  
(松本佳林)